

目黒区納税貯蓄組合連合会優秀賞

地方税つてなんだろ？

目黒区立第十中学校 三年

植松 龍喜

みなさんは「税金」つて聞いて、どんなイメージがありますか？僕は最初、「大人が毎月しぶしぶ払っている、取られていくお金」つていうイメージでした。なにか悪い魔法みたいに勝手にお金が消えていくやつです。でも社会の授業で「税金がないと困る」つて聞いて、「え？取られない方がうれしいんじやないの？」つて思いました。そこで僕は気になり調べてみたら、とつても面白いことが分かりました。税金にはいろいろな種類があるけど、その中に「地方税」つていうのがあります。これは、国に払う「国税」とはちがって、自分が住んでいる市町村や都道府県に払うお金です。つまり、「地元をよくするためのお金」つてことなんです。例えば、道路。僕が塾のときデコボコの道があつたんですけど、いつのまにか工事されてツルツルになってました。あれも地方税のおかげです。もし地方税がなかつたら、僕は毎日つまずいて転んで、リュックサックからテキストをぶちまけていたかもしれません。そう考えると「ありがとうございます地方税！」つて思います。それから学校の図書館。僕はあまり図書館を使わないけど、新しい小説や参考書が入ってきます。これも地方税で買われ

ているそうです。もしかつたら、学校の生徒みんなボロボロの古い百科辞典で「インターネットつて何？」みたいなページを読んでいたかもしれません。さらに、ごみ収集。朝出したゴミ袋をおじさんたちがトラックで持つていつてくれます。もしこれがなかつたら、町中がゴミだらけになつて、夏はカブトムシどころかハエだらけになるでしょう。そう考えると、地方税つてけつこうヒーローなんじやないかと思います。でもヒーローつて目立たないと、あまり人気が出ません。地方税も、ちゃんと使われているのに目立たないから「ただのお金の取り立て」みたいに思われるのかもしれません。僕はここで提案します。「地方税が使われたところにシールを貼る！」作戦です。道路に「この道、地方税！」学校の本に「この本、地方税！」ゴミ収集車に「走る地方税！」みたいに書いたら、みんなもつと感謝すると思います。ちよつとダサイけど、分かりやすいはずです。最後に、僕が思つたことを話します。地方税つて、僕たちの生活を支えてくれる「縁の下の力もち」みたいな存在なんだと思ひます。なくともすぐには気づかないかもしれないけど、なくなつたら毎日がとんでもなく不便になるはずです。これからも地方税には頑張つてもらつて、僕はそれを使って快適に生きていきたいです。だから将来、大人になつて働いたら、僕もちゃんと地方税を払つていこうと思ひます。ですが正直、できれば「払つた人にポイントカード」みたいな制度があるともつと楽しくなるだろうし、人々からの印象を良くでき、楽しくなるんじやないかなと夢見ていています。